

研究課題名	頭蓋底腫瘍および間脳下垂体疾患における手術成績と治療経過に関する後方視的観察研究
研究の意義・目的	頭蓋底腫瘍および間脳下垂体疾患に対する外科治療では、病変に応じた最適な手術方法や手術器具・機器を選択する必要があります。本研究では、頭蓋底腫瘍および間脳下垂体疾患に対する手術成績および治療経過を後方視的に解析し、安全かつ確実な外科手術の条件や方法について明らかにします。
研究を行う期間	倫理委員会承認後～ 2024年3月
研究協力をお願いしたい方(対象者)	2013年4月～2024年3月に大阪市立大学医学部附属病院の脳神経外科で、頭蓋底腫瘍もしくは間脳下垂体疾患で腫瘍摘出術を実施された方および実施予定の方が対象となります。
協力をお願いしたい内容と研究に使わせていただく試料・情報等の項目	診療の過程で得られた下記項目を本研究に使用させてください。 診療情報等：【病歴、診断名、年齢、性別、入院日、既往歴、検査データ、CT画像、MRI画像、脳血管造影画像、手術記録、検査前後での症状変化などが記載された診療録データ、退院後の経過などが記載された診療録データ】
試料・情報の他機関への提供	この研究は大阪市立大学医学部附属病院脳神経外科のみで行い、他の施設に試料・情報は提供いたしません。
この研究を行っている共同研究機関	この研究は大阪市立大学医学部附属病院脳神経外科のみで行います。
試料・情報を管理する責任者	大阪市立大学大学院医学研究科 脳神経外科学 研究責任者 森迫 拓貴
本研究の利益相反	利益相反の状況については大阪市立大学利益相反マネジメント委員会に報告し、その指示を受けて適切に管理します。 本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。
研究に協力をしたくない場合	下記に連絡することでいつでも本研究への協力を拒否することができます。また、研究への協力を断っても、診療に関する不利益等を受けることはありません。
連絡先	大阪市立大学大学院医学研究科 脳神経外科学 (担当者氏名) 森迫 拓貴 メールアドレス：neurosurgery@med.osaka-cu.ac.jp